

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	創業支援事業	部課名	経済建設部・地域活性化推進室
		作成者	秋永 亘正
①めざすまちの姿	39 若い人たちが地元で働ける		
②大施策	若い人たちの地元での就労を促進する		
③中施策	若い人たちの働く意欲・能力を高める		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤、在学者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内在住、在勤、在学者が、豊明市内で起業している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 創業支援事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
創業実践セミナー の受講者数(延べ)	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		3	6	9	12	15
	実績値	0	2				
単位	人						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			1,191千円	1,636千円	
人 件 費	a 事業費合計		0千円	454千円	0千円
	正規職員	人数	0.2人	0.2人	
		b 金額	1,191千円	1,182千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		1,191千円	1,182千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			1,191千円	1,636千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			17円	24円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	受講者数が評価指標の目標値にはほぼ達成しているが、セミナー受講者数を増加させるためのPR内容を検討する必要がある。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	セミナー募集に係る広報及びホームページの内容を検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	PR方法の検討	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		